

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（教育文化施設：上新田中学校図書室等改修）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	宮崎県児湯郡新富町大字新田17053-8						
補助事業の成果の目標	<p>上新田中学校の校舎は、平成16年12月（築11年）に建築され、中学校生徒の教育の場として現在利用されているが、平成28年度から平成29年度にかけて、小学校校舎を中学校校舎に隣接して建設し、小中一貫校化とする計画を行っている。</p> <p>このため、今回、中学校の図書室及びパソコン教室を改修し、メディアセンターとして教室を共有化することで、小学校児童及び中学校生徒の連携教育を推進するものである。</p>						
補助事業の内容	上新田中学校図書室等改修工事 252.8㎡						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 6,264,000	円	円	円	円	円 6,264,000
	交付金額	6,000,000					6,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>改修工事によりパソコンと図書の同時利用ができるようになり、アンケート結果からも「調べ学習で便利になった」「広がって出入りがしやすくなった」等の意見があり、利便性の向上を図ることができた。</p> <p>周知については、工事施工時に設置する工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：ごみ収集車）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字上富田7491番地地内						
補助事業の成果の目標	平成14年3月導入のごみ収集車は導入から14年が経過し、老朽化が著しく故障・修繕が多くなっている。ごみ収集車は収集処理を迅速にし、町民の衛生的な生活環境を保持するため必要不可欠なものである。このため、ごみ収集車を更新し、町民の衛生・環境を保持する。						
補助事業の内容	ごみ収集車 1台						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 5,724,000	円	円	円	円	円 5,724,000
	交付金額	5,724,000					5,724,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	平成29年4月から平成30年1月までのごみ収集量は、可燃ごみ及び不燃ごみ並びにペットボトル等含めて389,580kgであり、安定的にごみの収集に取り組むことができています。車両の故障・修繕がなくなり、また従前のものよりもコンパクトになったため収集範囲が広がり、よりよい衛生環境を保持することができるようになった。 また、ごみ収集車のボディー左右等に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」で整備した旨を周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：防犯灯設置工事）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町 地内						
補助事業の成果の目標	新富町は、災害や事故のない安全で安心なまちづくりと、住民生活の利便性を図るため、町内全域の既設灯のLED防犯灯への改修及び地元の要望を受けての増設を計画的に進めていく。						
補助事業の内容	防犯灯新設・取替(新設 53灯 改修 61灯)						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 6,043,436	円	円	円	円	円 6,043,436
	交付金額	5,778,000					5,778,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	地域住民より「設置により防犯並びに夜間歩行に役立っている」との意見が寄せられ、災害や事故のない安全で安心なまちづくりと、住民生活の利便性に寄与することができた。なお、町広報誌及び防犯灯を設置した柱等に貼りつけたラベルを通じ、可能な限り特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを伝え住民に周知している。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：小型動力ポンプ積載車更新）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字上富田7491						
補助事業の成果の目標	<p>第1部（平成7年3月導入）、第5部（平成7年2月導入）、第16部（平成7年3月）の消防車両は導入から20年が経過し、老朽化が著しく故障・修繕が多くなっている。</p> <p>消防車両は火災を含む有事の際に消防団員にとって必要不可欠な物であり、活動の拠点になるものである。</p> <p>このため、消防車両を3台更新し、消防防災拠点として地区住民の安心安全を確保する。</p>						
補助事業の内容	小型動力ポンプ積載車3台購入						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 25,380,000	円	円	円	円	円 25,380,000
	交付金額	24,500,000					24,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>事業完了後、利用する消防団員へアンケート調査等を実施した結果、車両更新により不具合の解消や利便性向上が図られ、消防活動に支障もないとのことであり、地区住民の安全安心に資することができた。</p> <p>消防車両のドア等に「特定防衛施設周辺調整交付金事業」で整備した旨を記載し、町広報誌にて地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（交通施設：上今町～高畑線）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字新田						
補助事業の成果の目標	町道上今町～高畑線は、現在の道路平均幅員がW=3.5mと狭隘なため、車両の離合が困難であり緊急車両の通行等にも支障をきたしている状況である。また、一部区間については、経年劣化による路面の平坦性の低下に伴い、雨水の園芸施設への流入及び路面不陸部分への滞留がみられ、耕作及び近隣住民の通行に支障をきたしている。 このため、拡幅改良工事（幅員W=4.5m）を実施し、交通状況と道路排水の改善を図り、地域住民の安心安全の確保及び利便性の向上を目標とする。						
補助事業の内容	道路改良工事 L=150.0m						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 21,106,497	円	円	円	円	円 21,106,497
	交付金額	20,129,000					20,129,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	全区間の改良工事が完了となり、狭小であった幅員が改善され、地域住民及び消防団へヒアリングを実施したところ、「道路幅員が広がったことにより、困難であった離合が容易になった」「雨水の路面滞留及び周辺園芸施設への雨水の流入も改善された」との意見が寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。 また、地元説明会及び工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記、説明し事業の周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設（交通施設：今別府3号線）整備事業						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町大字日置						
補助事業の成果の目標	町道今別府3号線は、地域住民の重要な生活道であるが、幅員が3.4mと狭小であり、かつ側溝が布設されていないため、降雨時の路面滞水や沿線住宅への溢水が見られ、地域住民の生活に支障をきたしている。また、経年劣化による路面の平坦性の低下に伴い、振動の発生等、車両走行にも支障を来している状況である。このため、改良拡幅工事を実施し、交通状況の改善を図り地域住民の生活基盤の整備を図る。						
補助事業の内容	道路改良工事 L=100.0m						
補助事業の始期及び終期	平成25年度～平成28年度						
事業費及び交付金額		25年度	26年度	27年度	28年度		計
	事業費	円 2,152,000	円 3,427,000	円 12,980,000	円 16,044,461	円	円 34,603,461
	交付金額	2,000,000	3,148,000	12,960,000	15,400,000		33,508,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	全区間の工事が完了となり、排水状況が改善し、地域住民へヒアリングを実施したところ「道路改良・排水整備が行われ、道路から住宅への溢水が解消された」との意見が寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。 また、工事看板及び町報に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを明記し周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業（通信に関する事業：新富町有線ラジオ放送施設運営基金）						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町						
補助事業の成果の目標	新富町の有線ラジオ放送施設は、迅速かつ正確に災害等の緊急情報や行政情報の提供を行うために整備を行った。 このため、新富町有線ラジオ放送施設運営基金を設置し、有線ラジオ放送施設の維持運営費用に充てることで、有線ラジオ放送施設の安定運用を目標とする。						
補助事業の内容	有線ラジオ放送施設の維持運営のためのIP告知システム運用、保守、サーバハウジング料、IP通信網サービス利用料						
補助事業の始期及び終期	平成26年度～平成35年度						
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度			計
		円	円	円	円	円	円
	基金造成額	53,514,000	34,640,000	36,559,000			124,713,000
	市町村費等						0
	運用益	1,395	67,357	92,352			161,104
	計	53,515,395	34,707,357	36,651,352			124,874,104
	基金処分額	8,862,000	20,203,000	20,203,000			49,268,000
基金残額	44,653,395	14,504,357	16,448,352			75,606,104	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	作業記録により、IP告知システムの適切な保守管理や、戸別の機器の故障対応等（平成28年度：239件）を迅速かつ適切に行ったことを確認した。これにより、施設の安定運用が図られた。 地域住民への周知については、町ホームページ及び広報誌にて「特定防衛施設周辺整備調整交付金」事業である旨を記載し実施した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連特定事業（交通に関する事業：新富町コミュニティバス運営基金）						
補助事業者名	新富町長						
実施場所	新富町						
補助事業の成果の目標	<p>新富町においては、路線バスが唯一の公共交通手段であり、高齢者の通院や買い物など住民生活に欠かせないものである。しかしながら、民営バスは、各路線の採算性から平成28年度から2路線について減便されている。</p> <p>このため、本町においてコミュニティバスの運行を実施することにより、地域の公共交通手段を確保し、地域住民の生活環境の維持を図る。</p> <p>（参考指標） 想定利用者数：1日平均20名以上</p>						
補助事業の内容	新富町コミュニティバスの運営及び車両修理等						
補助事業の始期及び終期	平成25年度～平成34年度						
事業費及び交付金額		25年度	26年度	27年度	28年度		計
		円	円	円	円	円	円
	基金造成額	10,000,000	0	10,000,000	0		20,000,000
	市町村費等	0	0	0	0		0
	運用益	0	6,000	1,317	20,150		27,467
	計	10,000,000	6,000	10,001,317	20,150		20,027,467
	基金処分類	0	4,746,177	4,659,181	4,673,907		14,079,265
基金残額	10,000,000	5,259,823	10,601,959	5,948,202		5,948,202	
補助事業の成果及び評価並びに周辺住民への周知の実施状況	<p>【成果及び評価】 コミュニティバスの運行記録により、1日平均(平日)の利用者数は概ね20名(平成28年度)となっており、公共交通空白地帯の住民の交通手段を確保することができており、地域住民の生活環境の維持に寄与している。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」である旨を町広報誌、町ホームページ及びバスに掲示している。路線図や時刻表を全戸に配布し、住民へ案内している。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。